

学校法人天理大学 財務の概要

(1) 平成 25 年度決算の概要

平成 25 年度決算について、予算と対比してその概要を報告します。

◆ 資金収支計算

資金収支計算書は、当該年度における教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容、並びに支払資金の収支のてん末を明らかにしたものです。すべての収支内容を明らかにするとは、実際の収入・支出に限らずその会計期間に入金又は出金すべき額、すなわち未収入金や未払金も収入・支出に含め、授業料免除等のお金の動きが実際にはない活動も含めることとなります。また、支払資金のてん末とは、支払資金の前年度末残高、入金、出金及び年度末残高を明らかにすることです。従って収入には前年度繰越支払資金を含めて計算し、支出には次年度繰越支払資金を含めて計算することになり、収入の部合計と支出の部合計は一致します。

資金収支計算書は企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いものですが、個々の収入金額、支出金額は前受金、未収入金、未払金、前払金等で処理した費用も含まれていますので、必ずしもキャッシュ・フローとはなっていません。しかし、それら前受金等を調整する「調整勘定」を設けることにより、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

(単位：千円)

●収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,742,413	3,761,406	△ 18,993
手数料収入	76,445	69,896	6,549
寄付金収入	2,811,100	2,813,579	△ 2,479
補助金収入	1,208,828	1,186,075	22,753
資産運用収入	53,099	57,482	△ 4,383
雑収入	350,515	355,401	△ 4,886
前受金収入	471,650	472,825	△ 1,175
その他の収入	254,500	258,287	△ 3,787
資金収入調整勘定	△ 800,950	△ 819,890	18,940
前年度繰越支払資金	4,558,985	4,558,985	
収入の部合計	12,726,585	12,714,046	12,539

●支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費支出	5,862,707	5,860,258	2,449
教育研究経費支出	1,457,166	1,452,858	4,308
管理経費支出	337,817	345,677	△ 7,860
借入金等利息支出	1,123	1,123	0
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	64,008	54,416	9,592
設備関係支出	211,579	230,693	△ 19,114
資産運用支出	2,510	1,402	1,108
その他の支出	844,877	844,814	63
資金支出調整勘定	△ 971,560	△ 951,304	△ 20,256
次年度繰越支払資金	4,816,358	4,774,109	42,249
支出の部合計	12,726,585	12,714,046	12,539

収入の部では、学生生徒等納付金収入は約 1900 万円の収入超過の 37 億 6141 万円となりました。手数料収入は予算に対して 655 万円減額となっています。寄付金収入は宗教法人天理教より 28 億円、その他の寄付金が 100%出資の事業会社「キャンパスサポート天理」とその他法人様よりの受配者指定寄付金を含め合計 1358 万円ありました。補助金収入は国庫補助金収入が私立大学等経常費補助金の減額等により見込みを下回り 6 億 1132 万円となりました。地方公共団体補助金収入は見込みを上まわり、1550 万円予算額より増額の 5 億 7475 万円となり、補助金合計は 11 億 8607 万円となりました。資産運用収入は受取利息・配当金収入、施設設備利用料収入とも見込みを上回り 438 万円の収入超過となっています。雑収入は私立大学退職金財団等交付金収入が予算どおり、また、その他の雑収入では文部科学省科学研究費補助金間接経費等が増えたため収入超過となりました。当年度収入合計は前年度の 82 億 8621 万円より 4237 万円減少して 82 億 4384 万円となり、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計では 127 億 1405 万円となりました。

支出の部では、人件費支出がほぼ予算額通りの 58 億 6026 万円となりましたが、退職金が増額したため、前年度より 4639 万円増額しています。教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、設備関係支出に計上された主な工事、備品等の整備は以下のとおりです。

施 設	内 容
大 学	◇学務情報システム Campus Square 更新 ◇CALL 教室、AV 教室並びにマルチメディア教室設備更新 ◇白川グラウンド道路架空ネット張替工事 ◇白川グラウンド内下水設備工事 ◇体育学部架空高圧配線路設備更新工事 ◇2 トントラック購入 ◇CALL システムユーザーサポート作業委託料 ◇情報ライブラリー業務委託料 ◇ホームページリニューアル ◇6 号棟 3 階教室等机・椅子入替及び改修工事

施設	内 容
図 書 館	◇高圧受変電設備及び蓄電池設備更新工事 ◇国宝「類聚名義抄」保存修理 ◇特別図書「古活字版徒然草寿命院抄」「トロイ遺跡図譜」「南方熊楠書簡 日野國明宛」 「日本・蝦夷・琉球図」「森鷗外書簡巻 山根武亮宛」他購入 ◇鋼製書架購入
参 考 館	◇監視カメラシステム設置
高等学校	◇第3別館ベランダ通路フェンス修繕塗装工事 ◇ 本校舎1階男子トイレ改修工事 ◇白球寮エアコン設備・給湯設備工事 ◇火水風寮エアコン設備工事 ◇勾田寮エアコン 設備工事 ◇第1パソコン教室機器設備更新 ◇北寮スチール窓改修工事 ◇陽心 寮便所小便器取替工事
中学校	◇身障者用トイレ改修工事 ◇プール次亜塩素自動供給装置設置 ◇教職員用パソコ ン整備
小学校	◇パソコン教室機器設備更新 ◇各階西側男女トイレ改修工事

日本私立学校振興・共済事業団からの借入金にかかる返済支出は予算どおり1億円、同利息分が112万円です。資金支出は合計で127億1405万円となり、そのうち次年度繰越支払資金は47億7411万円となりました。

◆ 消費収支計算

消費収支計算は企業会計における損益計算の仕組みに類似しています。すなわち帰属収入（学校法人の負債とならない収入＝収益）から基本金組入額（教育・研究を継続的に維持向上させていくために必要な土地、建物、機器備品、図書等を取得した金額＝資産）を差し引いた消費収入と消費支出（消費した資産の価額及び用役の対価＝費用）を比較して、その均衡の状態、収入が超過しているか、あるいは支出が超過しているかを判定するものです。（損益計算書では計上されない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が主な相違点です。）

学校法人は企業と異なり収益の獲得を目的とするものではありませんので、学校法人会計には損益の計算という概念はありません。教育研究内容に見合った適正な収入を得て、教育研究活動の機会と場を継続的に提供することを目的としています。消費収支計算書の消費収入と消費支出が長期的にはつり合い、必要な資産が維持されることが健全な学校経営として望まれるところです。

（単位：千円）

●消費収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,742,413	3,761,406	△ 18,993
手数料	76,445	69,896	6,549
寄付金	2,823,080	2,829,715	△ 6,635

補助金	1,208,828	1,186,075	22,753
資産運用収入	53,099	57,482	△ 4,383
雑収入	350,515	355,401	△ 4,886
帰属収入合計	8,254,380	8,259,975	△ 5,595
基本金組入額合計	△ 120,206	△ 104,722	△ 15,484
消費収入の部合計	8,134,174	8,155,253	△ 21,079

●消費支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費	5,863,907	5,854,909	8,998
教育研究経費	2,134,622	2,155,173	△ 20,551
管理経費	372,767	380,013	△ 7,246
借入金等利息	1,123	1,123	0
資産処分差額	55,500	24,504	30,996
消費支出の部合計	8,427,919	8,415,722	12,197

当年度消費支出超過額	293,745	260,469	
前年度繰越消費支出超過額	10,510,279	10,510,279	
翌年度繰越消費支出超過額	10,804,024	10,770,748	

【用語（科目）の説明】

- ① 学生生徒等納付金……授業料、入学金、実験実習料、維持費、教育設備充実費等
- ② 手数料……入学検定料、試験料、証明手数料等
- ③ 寄付金……宗教法人天理教よりの回付金、一般寄付金等
- ④ 補助金……私立大学等経常費補助金、奈良県私立学校経常費補助金等
- ⑤ 資産運用収入……預金、有価証券等の利息、配当金等
施設設備の賃貸料収入
- ⑥ 資産売却差額……資産売却収入がその帳簿残高を超えた場合の超過額
- ⑦ 雑収入……私立大学退職金財団等交付金収入、その他の雑収入
- ⑧ 帰属収入……すべての収入のうち、借入金等の負債の増加とならない、本来的に学校法人に帰属する収入
(資金の収入を伴わない現物寄付を含む)
- ⑨ 基本金組入額……取得した建物、機器備品等の固定資産のうち、帰属収入をもって充当した額
- ⑩ 人件費……教員・職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費
役員報酬、退職給与引当金組入額
- ⑪ 教育研究経費……教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額

- ⑫ 管理経費……………教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額
- ⑬ 借入金等利息……………借入金に係る利息
- ⑭ 資産処分差額……………固定資産を廃棄した場合の除却損

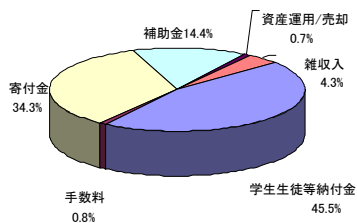
《前述の資金収支と共通の科目があるので、消費収支特有のものについて説明します。》

消費収入の部では、帰属収入合計が予算比 0.07%増の 82 億 5998 万円（前年度 1.2%〈9872 万円〉の増）となりました。基本金組入額合計が、予算比 12.9%減の 1 億 472 万円となり、消費収入合計は予算比 0.3%増の 81 億 5525 万円（前年度比では 5.8%〈4 億 4583 万円〉の増）となりました。消費収入特有の現物寄付としては大学後援会等より図書を受贈、文部科学省科学研究費補助金による備品購入があり、寄付金は 28 億 2972 万円（前年度比では 3.1%〈8988 万円〉の減）となりました。消費支出の部では、人件費に退職給与引当金繰入額 6 億 8980 万円を含み、資金収支計算での人件費支出との差額は 535 万円となっています。教育研究経費に 6 億 1992 万円、管理経費に 2557 万円の減価償却費を含んでいます。消費支出の部合計は 84 億 1572 万円（前年度比では 2.5%〈2 億 693 万円〉の増）となりました。

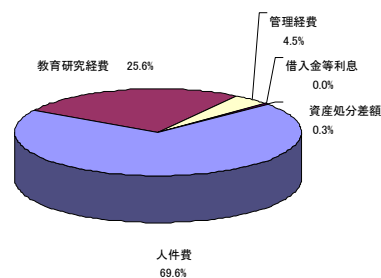
当年度消費収支差額は 2 億 6047 万円の消費支出超過額（前年度は 4 億 9937 万円の消費支出超過額）となり、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は 107 億 7075 万円となりました。

《消費収支計算のグラフ》

帰属収入の構成比



消費支出の構成比



◆ 貸借対照表

貸借対照表は、当法人の財政状態を明示するために、年度末に保有するすべての、資産、負債、基本金および消費収支差額を前会計年度末の額と比較して一覧表示したものです。資産の部は、貸借対照表の借方に表示され、学校法人天理大学に投入された資金がどのように使われているかを表示します。貸方に表示される負債、基本金、消費収支差額はその資産が他人の資金（負債）によって賄われているか、自己資金（基本金、消費収支差額）で賄われているか、すなわち資金の源泉を表示しています。

企業会計でいう資本という概念がないので、基本金の部（基本金として組み入れている金額）と消費収支差額の部（消費収支計算で消費収入から消費支出を差し引いたものの会計年度末までの累計額）が貸方に計上されることが企業会計のものとは異なる点です。

また、記載金額は期末時点の財産価値ではなく取得した当初の価額を基準とし（取得原価基準）、建物、機器備品等の時の経過によりその価値を減少させる固定資産の貸借対照表計上額は、減価償却をおこなった後の金額となります。

（単位：千円）

●資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	26,628,652	27,088,166	△ 459,514
有形固定資産	24,849,042	25,309,958	△ 460,916
その他の固定資産	1,779,610	1,778,208	1,402
流動資産	5,102,428	4,820,726	281,702
資産の部合計	31,731,080	31,908,892	△ 177,812

●負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,085,060	1,090,408	△ 5,348
流動負債	1,549,606	1,566,322	△ 16,716
負債の部合計	2,634,666	2,656,730	△ 22,064

●基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	39,076,543	38,973,223	103,320
第3号基本金	140,619	139,218	1,401
第4号基本金	650,000	650,000	0
基本金の部合計	39,867,162	39,762,441	104,721

●消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	10,770,748	10,510,279	260,469
消費収支差額の部合計	△ 10,770,748	△ 10,510,279	△ 260,469
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	31,731,080	31,908,892	△ 177,812

【用語（科目）の説明】

- ⑮ 固定資産……………有形固定資産：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛
その他の固定資産：有価証券、引当資産等
- ⑯ 流動資産……………現金預金、未収入金、仮払金、貯蔵品
- ⑰ 固定負債……………長期借入金、退職給与引当金
- ⑱ 流動負債……………短期借入金、未払金、前受金、預り金
- ⑲ 基本金……………第1号基本金：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛等の教育研究に必要な資産を
自己資金で取得した総額
第3号基本金：天理大学ふるさと会海外研修基金、果実を学生の海外研修費用の一部に充当
第4号基本金：学校法人が円滑な運営を行うために必要な運転資金の額
- ⑳ 消費収支差額 ……………当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額

資産の部では、有形固定資産が施設設備の更新、受贈等による増加と資産の除却による減少及び減価償却額を差し引いて、前年度末から4億6092万円減額しています。その他の固定資産は第3号基本金引当資産の積み増しにより、140万円増額しています。流動資産は現金預金、未収入金等の増額により2億8170万円の増となり、資産の部合計では差引1億7781万円減の317億3108万円となりました。負債の部では退職給与引当金、借入金、前受金が減少し、未払金、預り金が増加したので差引2206万円減の26億3467万円となっています。基本金の部では1億472万円の基本金組み入れを行いましたので総額398億6716万円となりました。

消費収支差額の部合計は、消費収支計算の翌年度消費支出超過額と同額の107億7075万円の消費支出超過となっています。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は290億9641万円となりました。

(2) 経年比較

財務状況について、収支計算書及び貸借対照表の大科目又は主な科目の過去5年間の推移を記載します。

(単位：千円)

資金収支計算書					
●収入の部					
科 目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
学生生徒等納付金収入	3,388,355	3,289,724	3,394,678	3,591,305	3,761,406
手数料収入	75,701	78,616	77,457	76,454	69,896
寄付金収入	3,251,160	3,258,298	3,100,250	2,909,550	2,813,579
補助金収入	1,260,021	1,222,293	1,290,385	1,210,555	1,186,075
資産運用収入	59,984	55,280	53,203	56,411	57,482
資産売却収入	510	104,640	100,000	140,000	0
雑収入	308,612	248,903	440,927	301,932	355,401
前受金収入	548,415	505,340	526,665	498,605	472,825
その他の収入	338,524	299,592	492,630	374,870	258,287
資金収入調整勘定	△ 928,536	△ 739,670	△ 880,210	△ 780,319	△ 819,890
前年度繰越支払資金	4,378,655	3,937,418	4,169,107	4,698,349	4,558,985
収入の部合計	12,681,401	12,260,434	12,765,092	13,077,712	12,714,046

●支出の部					
科 目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
人件費支出	6,160,675	6,034,553	6,441,977	5,813,866	5,860,258
教育研究経費支出	1,161,355	1,171,301	1,167,167	1,189,445	1,452,858
管理経費支出	390,313	386,706	365,987	325,683	345,677
借入金等利息支出	7,453	5,870	4,288	2,705	1,123
借入金等返済支出	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
施設関係支出	76,743	65,030	87,233	320,736	54,416
設備関係支出	245,002	236,194	192,498	194,447	230,693
資産運用支出	234,728	96	109,078	100,467	1,402
その他の支出	1,360,152	922,438	900,861	1,316,192	844,814
資金支出調整勘定	△ 992,438	△ 900,861	△ 1,302,346	△ 844,814	△ 951,304
次年度繰越支払資金	3,937,418	4,169,107	4,698,349	4,558,985	4,774,109
支出の部合計	12,681,401	12,260,434	12,765,092	13,077,712	12,714,046

(単位：千円)

消費収支計算書					
●消費収入の部					
科 目	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度
学生生徒等納付金	3,388,355	3,289,724	3,394,678	3,591,305	3,761,406
手数料	75,701	78,616	77,457	76,454	69,896
寄付金	3,466,252	3,271,458	3,250,441	2,919,595	2,829,715
補助金	1,260,021	1,222,293	1,290,385	1,210,555	1,186,075
資産運用収入	59,984	55,280	53,203	56,411	57,482
資産売却差額	0	393	0	5,000	0
雑収入	552,692	248,903	649,935	301,932	355,401
帰属収入合計	8,803,005	8,166,667	8,716,099	8,161,252	8,259,975
基本金組入額合計	△ 423,714	△ 308,159	△ 204,849	△ 451,833	△ 104,722
消費収入の部合計	8,379,291	7,858,508	8,511,250	7,709,419	8,155,253

●消費支出の部					
科 目	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度
人件費	6,212,382	5,851,321	6,220,850	5,913,750	5,854,909
教育研究経費	1,914,122	1,909,723	1,858,820	1,885,261	2,155,173
管理経費	730,247	425,029	622,004	361,218	380,013
借入金等利息	7,453	5,870	4,288	2,705	1,123
資産処分差額	16,240	36,114	64,397	45,855	24,504
消費支出の部合計	8,880,444	8,228,057	8,770,359	8,208,789	8,415,722
当年度消費支出超過額	501,153	369,549	259,109	499,370	260,469
前年度繰越消費支出超過額	9,035,533	9,382,250	9,751,799	10,010,909	10,510,279
基本金取崩額	154,436	0	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	9,382,250	9,751,799	10,010,908	10,510,279	10,770,748

(単位：千円)

貸借対照表					
●資産の部					
科 目	2 1 年度末	2 2 年度末	2 3 年度末	2 4 年度末	2 5 年度末
固定資産	28,639,014	28,037,263	27,373,143	27,088,166	26,628,652
流動資産	4,235,569	4,366,395	5,078,625	4,820,726	5,102,428
資産の部合計	32,874,383	32,403,658	32,451,768	31,908,892	31,731,080

●負債の部					
固定負債	1,694,883	1,411,651	1,090,525	1,090,408	1,085,060
流動負債	1,764,152	1,638,048	2,061,544	1,566,322	1,549,606
負債の部合計	3,459,035	3,049,699	3,152,069	2,656,730	2,634,666
●基本金の部					
第1号基本金	38,009,016	38,317,081	38,521,855	38,973,223	39,076,543
第3号基本金	138,582	138,677	138,753	139,218	140,619
第4号基本金	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
基本金の部合計	38,797,598	39,105,758	39,310,608	39,762,441	39,867,162
●消費収支差額の部					
翌年度繰越消費支出超過額	9,382,250	9,751,799	10,010,909	10,510,279	10,770,748
消費収支差額の部合計	△9,382,250	△9,751,799	△10,010,909	△10,510,279	△10,770,748
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	32,874,383	32,403,658	32,451,768	31,908,892	31,731,080

(3) 主な財務比率の推移

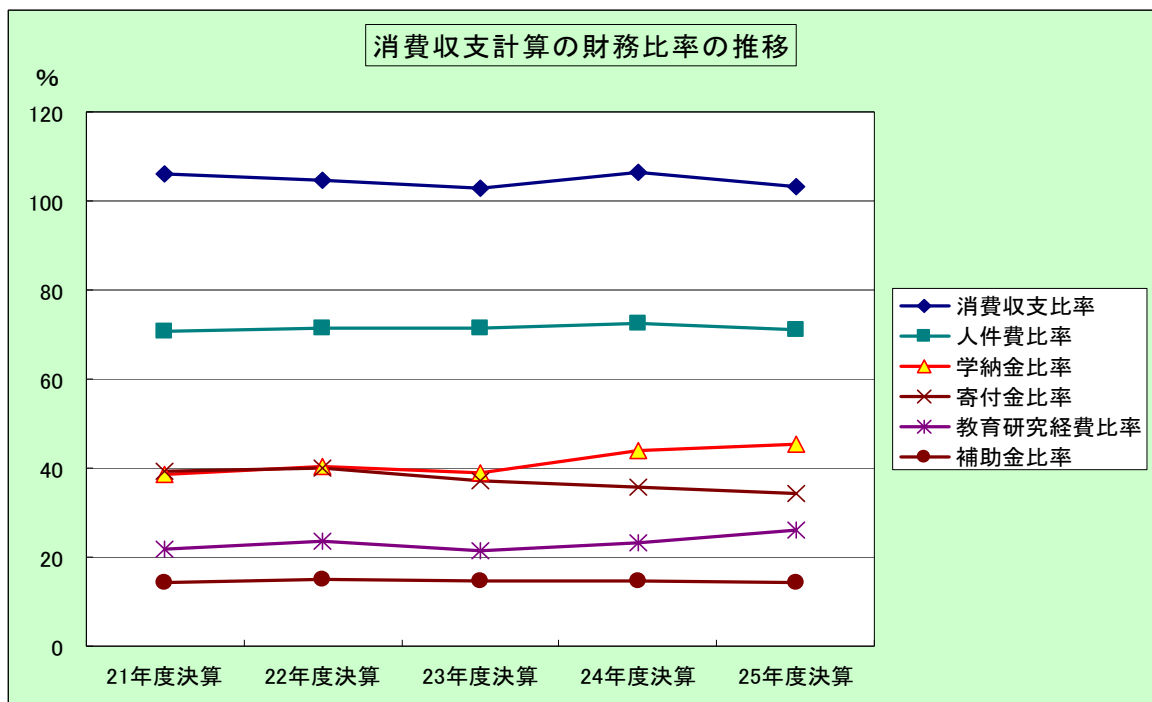
主な消費収支計算書関係比率と貸借対照表関係比率の過去5年間の推移を掲載し、一部の比率についてグラフにより概要を説明します。

(単位：%)

比 率	算 式 (×100)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	70.6	71.6	71.4	72.5	70.9
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	183.3	177.9	183.3	164.7	155.7
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	21.7	23.4	21.3	23.1	26.1
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	8.3	5.2	7.1	4.4	4.6
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.1	0.1	0	0	0
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△0.9	△0.8	△0.6	△0.6	△1.9
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	106.0	104.7	103.0	106.5	103.2

学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	38.5	40.3	38.9	44.0	45.5
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	39.4	40.1	37.3	35.8	34.3
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	14.3	15.0	14.8	14.8	14.4
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	89.5	90.6	90.3	91.7	91.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	240.1	266.6	246.4	307.8	329.3
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	11.8	10.4	10.8	9.1	9.1
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.9	99.2	99.4	99.7	100.0

「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわす。



消費収支比率は100%を恒常的に上まわり、25年度では3.2ポイント上まわりました。人件費比率は21年度から横ばい状態ですが、25年度は1.6ポイント下がりました。学生生徒等納付金比率(学納金比率)は学生生徒等納付金が増加し、寄付金が減少したことにより、25年度は1.5ポイントのアップとなり、寄付金比率は1.5ポイント下がりました。教育研究経費比率は3.0ポイントのアップとなり上昇傾向にあります。補助金収入は昨年度より減額となり、補助金比率は0.4ポイント下がりました。